

Q 災害時に正確な情報を迅速に伝える為に

ふくしま
福島 恵美 議員



A さまざまな課題がある

問 災害時情報の多言語版を紙ベースで用意しておくことについての見解は。

答 本市では多言語化したものは配布していない。現在ホームページ掲載の準備を進めている。

問 災害時デマは時に深刻な事態を招くことを歴史の教訓として教える必要がある。市内中学校で使われている歴史の教科書に、関東大震災はどのように記

述されているか。

答 「混乱の中で朝鮮人や社会主義者が井戸に毒を入れた、暴動を起こすといった流言が広がり、多くの朝鮮人、中国人や社会主義者が殺されました。」と記述されている。

問 自治体の長が間違った歴史観を持っていると行政や社会教育の方向性が狂い、大規模災害時の対応を間違えう。関東大震災

時の対応を間違えう。関東大震災



時の虐殺事件について、齊藤市長はどのような認識を持っているか。また、虐殺された人たちへの追悼の言葉を。

答 市において事実関係を把握できる記録は見当たらない。差別的言動や差別による暴力・犯罪は許されないと認識している。

◎その他の質問

- 一 生活困窮世帯へ支援を
- 二 生成AI利用の指針
- 三 自殺対策の優先順位

Q 言語通級指導教室に通う家庭に支援を

いずもびんたろう
出雲敏太郎 議員



A 新たな通級指導教室の開設を進めていきたい

問 保護者が送迎できないために通級指導教室に通えない子どもはいるのか。

答 難聴・言語は1人、発達・情緒の通級指導教室を含めると小・中学校合計で5人が通えていない状況にある。

問 言語通級指導教室を複数校に設置を。

答 開設には備品の整備などの費用もかかるため、市長部局と連携しながら進めていきたい。

問 教育部に対し、積極的な財政的支援を。

答 通級指導教室の拡張の必要性は認識している。教育部の予算が膨らんでいる面もあるため、調整を図りながらバランスよく



通級指導教室の様子

進めていきたい。

問 保護者の負担軽減のためにオンライン通級指導教室の導入を。

答 実施の可否を検討していきたい。

問 ファミリーサポートセンターの提供会員が少なく、送迎に利用できないとの声を頂いている。さらなる周知を。

答 今後も引き続き広報を続けていきたい。

◎その他の質問

- 一 防災体制の強化について
- 二 子ども達の「確かな学力」を育むために